

平成28年度 学校評価書（年度）

学校教育目標

豊かな人間性を育み、たくましく生き抜いていこうとする生徒の育成

〈今年度の重点目標〉

良さを認め合いながら、一步前に出て活動できる生徒の育成
合言葉は 「挑戦」と「伝統」

防災活動

日景町

(1 / 12)



始業式

生徒代表

冬休みの

振り返りと

今年の抱負

(1 / 16)



平成29年2月17日
大館市立北陽中学校

V 評価

ア 学校運営の状況

自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著
	良好		4	目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる
	おおむね良好		3	目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる
	やや不十分		2	目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない
	努力を要する		1	目指す方向が不明確で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い

I 組織運営

学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
「挑戦」、「伝統」をキーワードに特色ある学校づくりが計画的・組織的に推進されている。	前期 おおむね良好	おおむね良好	・「挑戦」と「伝統」をキーワードとして、全職員が同じ方向を目指して取り組んでいる。「北陽中スタイル」の確立に向けて、継続して進んでほしい。 ・副担任制や少人数指導で生徒へのきめ細かい指導や対応が見られ、生徒に寄り添った指導が進められている。
	年度 良好	良好	・統合2年目、ホップの次のステップの段階であったが、子どもたちがよりよい学校生活を送るための組織的な取組が見られた。また、全職員が見通しをもって教育活動を進めることができるような、主任層からの提案も効果的に行われていた。
校自の己改善価値の概要と学	○開校2年目を迎え、「挑戦」と「伝統」を合言葉に、昨年度の実践に改善や工夫を加え、発展させようという気持ちで職員が指導に当たっている。三役会は必要に応じて随時開催し、学年主任会は生徒支援担当も含めて週1回実施している。学年主任会の実施については職員評価が4.0の評価であり、今後も具体的な事業をもとに情報交換のみならず、対策を見つけ実行できる会議として継続したい。副担任制の活用については、日常的教育相談や進路相談に積極的に関わると、生徒理解や効果的な指導に成果が見られる。今後も継続していきたい。事務職員との連携については会計処理が今年変更になったが、計画的、スムーズに処理されている。予算管理、設備管理、設備補修等が迅速かつ正確に行われており、4.2の高い評価を得ている。		
	○前期と比較すると、組織運営は全体的に評価が高くなっている。特に事務職員を中心とした事務処理は前期に引き続き、迅速及び適正に行われており職員の信頼も厚い。また、職員会議では各主任から見通しをもった提案が出され、組織的に教育活動を行うことができた。定期的な学年主任会で確認した方針や対策を各学年で徹底できるように、主任から職員への情報提供を迅速かつ確実に行うことをさらに徹底させたい。副担任制については、担任とともに、学校生活の悩みの解決に一緒にあたること、改善の方向に向かった事例もあり、効果を上げている。今後ともより効果的な活用を工夫していきたい。		

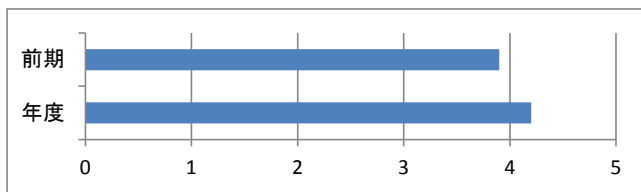
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 組織的運営体制の確立	(1) 運営方針の浸透	定期的な三役会(校長、教頭、教務主任)の開催と効果的な運営	3	4
	(2) 学年部組織の強化	学年間の調整を図る「学年コーディネーター」の効果的な運用 副担任制を活用した学年組織の強化		
2 諸会議の効果的な運営	(3) 月1回の職員会議運営の工夫	提案事項の事前確認による、機を逃さない指導部長提案の支援	3	4
	(4) 主任層教員間の共通理解の場の確保	定期的な学年主任会と運営委員会の実施		
3 事務職員との連携	(5) 事務処理の効率化・適正化と設備管理	事務職員との連携による事務処理負担の軽減と指導時間の確保	4	5
		定期的な点検による設備管理及び予算管理の適正化		

[1]に関連するデータ

【アンケート種別】 ○生徒 □保護者 ■教職員
【5段階評価】 5:大変よい 4:よい 3:だいたいよい 2:やや不十分 1:不十分

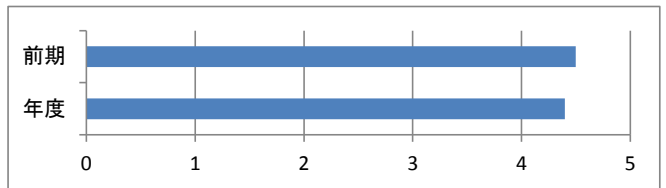
(1) 運営方針の浸透

- 校務部会、運営委員会、職員会議が機能的に推進され、各担当から見通しをもった提案が行われたか？



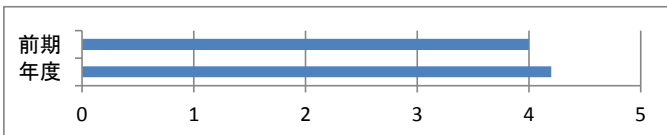
(2) 学年部組織の強化

- 生徒と副担任は協力して、学級のために指導や支援をしてくれましたか。



(3) 月1回の職員会議運営の工夫

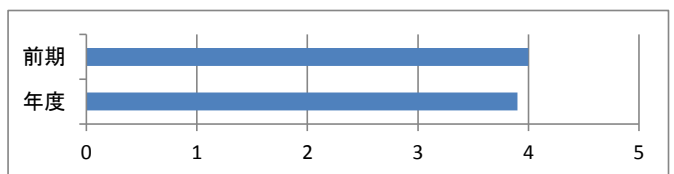
- 職員会議案件が見通しをもって提案されるような働きかけが行われていたか。



[2]に関連するデータ

(4) 主任層教員間の共通理解の場の確保

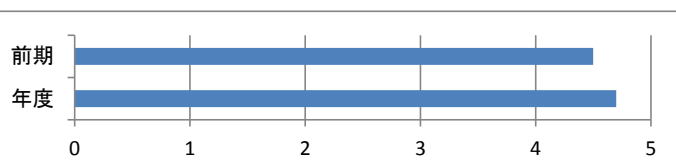
- 定期的な学年主任会と運営委員会の実施は共通理解に効果的であったか。



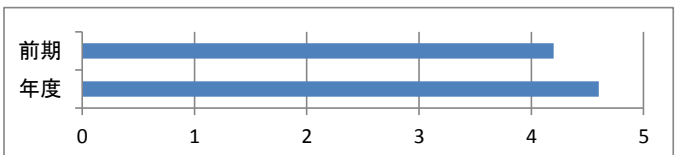
[3]に関連するデータ

(5) 事務処理の効率化・適正化と設備管理

- 事務職員との連携による事務処理負担の軽減がなされていたか？



- 配当予算が適切に周知され、消耗品の調整及び施設設備補修等が効果的に行われていたか？



ア 学校運営の状況

II 教師の研修

学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
学校の教育活動のレベルアップのために、教職員の研修が活発に行われている。	前期	おおむね良好	・50分ものさしの掲示を始めとする1単位時間のスタンダード化を図るなど、確かな授業づくりがなされている。先生方へのヒアリングでも学力向上への方策がしっかり話されていたので、さらに共通理解を深めて取り組んでほしい。
	年度	おおむね良好	・教師の研修が活発に行われており、その成果を個々の生徒の向上に結びつけてほしい。研究主任の的確なリーダーシップの下、全職員が同一歩調で指導に邁進している現在の取組をさらに進めることが望まれる。
策 自 己 評 価 の 概 要 と 学 校 の 改 善	<p>○統合1年目の昨年度は、生徒同士が互いに気兼ねなく思いや考えを伝え合いながら学べる授業づくりを目指して取り組んできた。2年目を迎えた今年度はステップアップを図りたいと考え、生徒同士の学び合いを通して個々が高め合える授業づくりを目指している。その達成のために研修を段階的に進めている。1学期は全職員の目標と意識を統一させるために、昨年度からの職員の授業提供による相互授業参観を行った。その際、1年生にも参観の機会を設け、生徒にも目指す北陽中生像をイメージさせた。全職員による校内研究会は指定訪問の際に2回行った。教科の研究会では専門外の教科においても、本校の共通実践事項に基づいて充実した話し合いができ、授業づくりに生かされる内容となった。</p> <p>○1学期の取組から得た課題は、言語活動の在り方と校外研修の促進及び情報の共有化である。言語活動については形骸化が懸念される。何を身に付けさせるのかを熟考し、「ねらいを明確にした効果的な言語活動」を追究することを再確認していきたい。そして最終目標は「個の力を高めること」である。学び合いを通して、学んだことを確かに身に付ける習熟を充実させていく。校外研修については時間的な制約があり頻繁に機会を得られない現状であるが、研修会に参加した職員からの情報を紙面等で周知するような工夫をしていきたい。</p> <p>○後期は校内外の研修の機会を多く得ることができた。校内では共通の実践事項や少人数学習の効果について検証することができた。教科の壁を越えて、言語活動を軸とした生徒同士が学び合える授業づくりを実践し、その充実を図るために研修を深めることができた。少人数学習については実感を持った効果を十分に得られていない。授業では手ごたえを感じるものの諸検査の結果につながっていない現状である。これらのことから明らかになってきた課題は、「集団の学びを個の力の高まりに生かすこと」である。これまでの取組を再確認しつつ、実績を得られる手立てを検討する段階にあると思われる。そのために3学期は、最終の検証の場として相互授業参観の実施と教科部会の取組の反省を行い、次年度につながる締めくくりとしたい。</p>		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
4 授業改善の推進	(6) 学び合い高め合う授業づくり	学習過程に応じた共通実践事項の設定と実践 全教科での言語活動の充実を図る実践 少人数学習の推進及び諸検査データの分析と活用	3	3
5 研修の実施及び活用	(7) おおだて型学力の育成を目指した研修の充実	全員参加型の校内研究会の推進 相互授業参観の充実 校外研修の促進と研修成果の共有化	3	3

(○生徒 □保護者 ■教職員) ※5段階評価(5:大変よい 4:よい 3:だいたいよい 2:やや問題 1:大いに問題)

[4に関連するデータ]

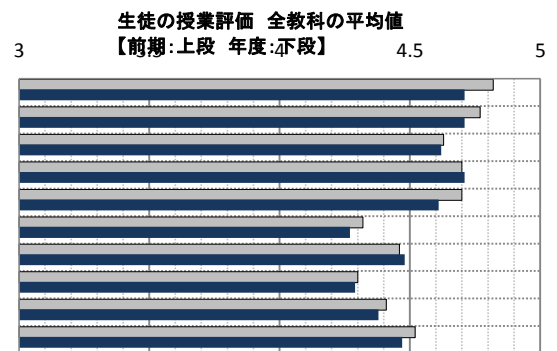
- 学習過程に応じた共通実践事項は実践されていたか。
- 少人数学習の推進と効果は上げられたか。
- 「授業のあいさつ」「聞く態度」「話し方」など、学習の約束を意識して学習できている。
- 自分の思いや考えを相手にしっかり伝え、話し合いながら学習を深めている。

H28前期	年度
3.8	3.8
3.3	3.4
3.6	3.7
3.5	3.5



○生徒による授業評価

- 1 学習課題(めあて)は、学習することやゴールがわかりやすいように示されていましたか。
- 2 黒板には、50分ものさしや学習内容がわかりやすく示されていましたか。
- 3 発表や話し合い、意見交換などの友達との活動がありましたか。
- 4 学習したことをまとめたり、身に付けたことを使って練習したりする時間が確保されていましたか。
- 5 学習内容はわかりやすいですか。
- 6 チャイム前学習を行っていましたか。
- 7 先生の質問に対して、自分の考えや思いをもちましたか。
- 8 質問や友達の意見を受けて、わかりやすく伝えようとしていましたか。
- 9 自分の意見と比べたり、深めたりするような聞き方をしていましたか。
- 10 あなたは、意欲的に授業に取り組んでいますか。

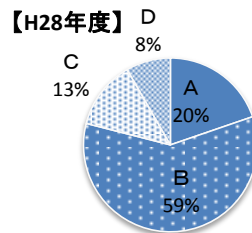


□学校での教科指導について、お子さんはどのように言っていますか。

- A どの教科も十分指導されている。
- B どちらかというによく指導されている。
- C どちらかというあまりよく指導されていない。
- D どの教科ももっとよく指導してほしい。

	H28前期	年度
A	26	31
B	107	93
C	14	20
D	9	13

(単位:人)



[5に関連するデータ]

- 全員参加型の校内研究会や相互授業参観の推進は効果的か。
- 相互授業参観の充実はなされていたか。
- 校外研修の促進と研修成果の共有化は図られたか。

H28前期	年度
4.1	3.9
3.4	3.2
2.9	3.4

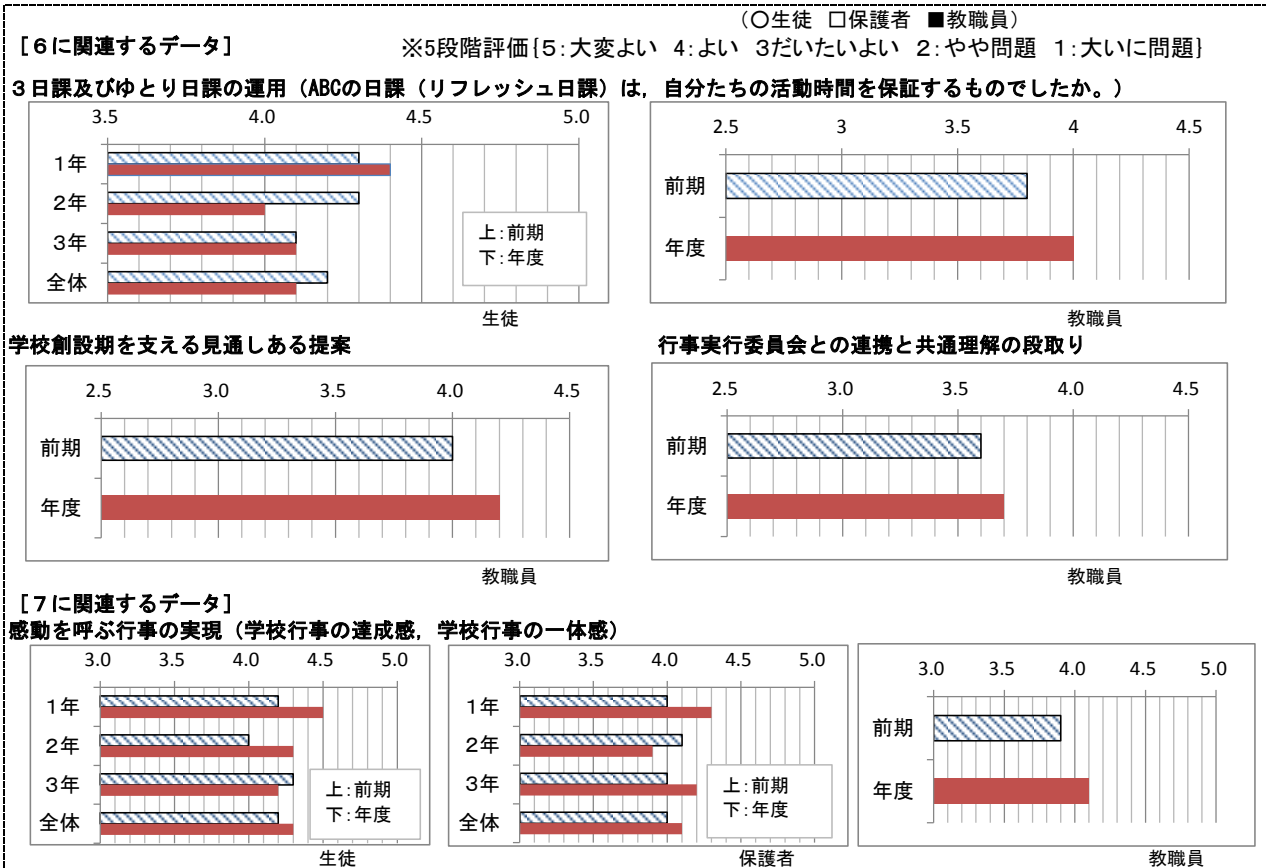


ア 学校運営の状況

Ⅲ 特色ある教育活動

学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
地域に根ざした特色ある教育活動に、誇りと気概をもって取り組んでいる。	前期	おおむね良好	「学び合い」をさらに推進し、生徒同士がより深め合い、広げ合う話し合い活動が展開できるようなレベルアップに向けた取組をお願いしたい。
	年度	おおむね良好	良好
自己評価の概要と学校の改善策	<p>○開校2年目となり、本当の意味で真価の問われる1年だと思う。相変わらず多忙な毎日であるが、生徒も職員も「北陽中スタイル」を確立するために、様々な活動に取り組んでいる。今までと同様に、地域からたくさんの協力を得ながら活動に取り組んでいる。保護者の思いはそれぞれだが、学校の活動に理解を示してくださるかたがほとんどで、少しずつではあるが「北陽中学区」としての一体感が生まれてきているように感じる。</p> <p>○前期の取り組みを踏まえ、後期は次の2点を重点的に取り組んでいく。1つめは日課の工夫である。さまざまな行事が重なり、生徒にも先生方にも窮屈な思いをさせる場面が多かった。見直しをもって活動を提案し、生徒も職員も主体的に教育活動に取り組めるように支援していきたい。2つめは保護者への情報提供である。今年度は運動会が雨天で二部構成になったが、第二部の周知が曖昧で保護者から要望が出されていた。やはりこちらも、見直しをもって周知することで、保護者の協力などもより得やすい環境が生み出されると考える。教頭先生や各担当との連絡を密にして、保護者がより学校の活動に信頼を寄せてくれるように情報を提供したい。まだ1歳半の北陽中である。生徒も教師も、地域とともに成長していけるように、「見直し」「連携する」「伝える」を大切にして、本校の特色を存分に発揮できる環境づくりに努めたい。</p> <p>○保護者の協力や地域の協力で、今年度の活動もここまで滞りなく進められている。学校祭でのPTAの協力、なべっこの地域婦人会の協力、地域防災活動での町内会の協力など、本校の活動は周りの皆様に助けられて成り立っていることを再認識させられた。生徒たちも、積極的に地域に出て、さまざまな活動に取り組んでいる。生徒自身が「地域に支えられている北陽中」をもっと意識できるように、情報発信をしていかなければならない。</p> <p>○日課は、多くの先生のご意見を伺いながら機動的に変更して、よりよい活動になるように支援してきたつもりだが、中途の変更が多くなり、分かりにくかったり、落ち着いた生活ができなかつたりした可能性がある。もっと先を見通して、生徒がより落ち着いた学校生活を送ることができるように支援していきたい。また、行事日程の確認不足で、直前での日程変更が生じた事案があった。基本ではあるが「報告・連絡・相談」を徹底して、計画的な行事日程を提案していきたい。行事に関しては、保護者から大変好意的なお言葉をいただきありがたかった。出していたご意見を参考にしながら、生徒も保護者も職員も、充実感をもてる学校行事や特色ある活動に取り組んでいきたい。</p>		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
6 特色ある教育課程の編成	(8) 生徒の活動を支える日課の工夫	3日課及びびゆとり日課の運用	3	3
	(9) 学校創設期を支える見直しある提案	職員会議案件の年間予定の提示と調整		
7 学校行事等の計画	(10) 感動を呼ぶ学校行事の実現	行事実行委員会との連携と共通理解の段取り	3	3
		地域連携活動の継続(教育課程及び行事予定への位置づけ)		



イ 生徒の状況

IV 確かな学力・基本的学習習慣

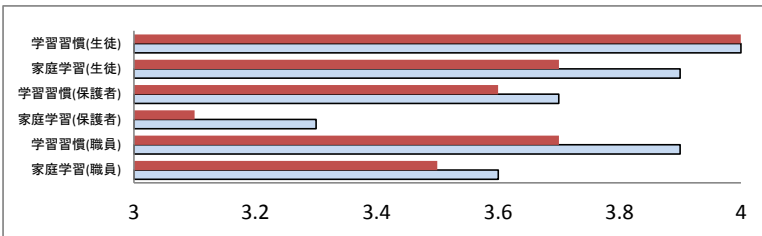
学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
生徒が主体的に学習に臨み、確かな学力を身に付けるように取り組んでいる。	前期	おおむね良好	良好
	年度	おおむね良好	良好
自己評価の概要と学校の改善策	<p>○「主体的な学習態度」の学習習慣については、生徒の評価が一番高く、保護者の評価が一番低かった。家庭学習については、学習習慣よりも評価が低く、特に保護者の評価が低かった。授業の様子から、全体的には学習習慣がついてきたと感じられる。しかし、全体だけでなく、個にも目を向けて取り組んでいきたい。家庭学習については、一人勉強ノート展を行ったり、定期テスト勉強期間を設けてカードを活用したりした。今後は、家庭学習の手引きを作成したり、課題への取り組み方のよい生徒を紹介するなど、より生徒のニーズに合わせて、効果的な家庭学習につながる取組を工夫したい。</p> <p>○「授業の充実」については、言語活動の場を設けているものの、充実までは至っていないことが分かる評価だった。昨年度に引き続き、生徒は学び合いの場面では一人一人の意見をつなごうと努めている。1学期後半からは、学び合いに広がりや深まりが生まれるように、『わかる』ように話し、「わかる」ために聞こうという目標掲げて、意欲や態度面からの見直しを図っている。また、効果的な学び合いには教師のコーディネート力が不可欠なので、研修部と連携して、教師の力量も高めたい。</p> <p>○「生徒の力を高める諸活動」については、ドリル学習で効果が見られた。今後も生徒の実態に合わせた手立てを講じたい。</p> <p>○「主体的な学習態度」の学習習慣については、保護者と職員の評価指数は若干高くなったものの、生徒の評価指数は変わらない。授業の様子から、前期に比べて向上しているが見られるが、生徒が自覚していない。当たり前なことであっても、できていることを認め、生徒が実感できるようにしたい。家庭学習については、効果的な家庭学習についてアドバイスし合うPUN集会を開いたり、家庭学習の手引きを作成したりした。よい取り組みをしている生徒を参考に自分なりの工夫をして家庭学習をする生徒が増えてきた。次年度も、今年度実践した取り組みを継続し、生徒の実態に合わせて改善していきたい。</p> <p>○「授業の充実」については、職員は手応えを感じているものの、生徒や保護者には変化を感じられていないようだ。学習課題については評価指数が下がっている。学習内容が難しくなる後半こそ、生徒の思いや実態に合う課題設定が大切である。教師のさらなる力量を高めなければならない。</p> <p>○「生徒の力を高める諸活動」については、前期低かったフレンドリー集会についての評価が高まった。生徒が全体の場になれてきたこと、生徒会による工夫がよかったことが要因と思われる。今後も全体や異学年に向けて自分の思いを伝える場を設けていきたい。</p>		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
8 主体的学習態度の育成	(11) 基本的学習習慣の定着	各教科共通の「学習習慣項目」の提示と実践 家庭学習充実のための働きかけ(PUN、各教科の学習アドバイス、ノート展)	3	3
		1単位時間の効果的なコーディネート(50分ものさし、授業展開の工夫、まとめの充実) ハンドサインや話型を手がかりにした言語活動の充実 ドリル学習やコラム学習、集会活動の実施	3	3

※5段階評価[5:大変よい 4:よい 3:だいたいよい 2:やや問題 1:大いに問題]

【8に関連するデータ】 ※グラフの上段：前期、下段：年度

主体的学習態度の育成



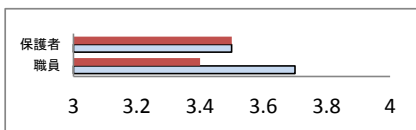
PUN集会 10月実施



【9に関連するデータ】

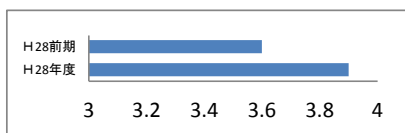
授業の充実

◆言語活動の充実



	前期	年度
生徒	4.6	4.6
発表や話し合い、意見交換などの友達との活動がありましたか。	4.6	4.6
質問や友達の意見を受けて、わかりやすく伝えようとしていましたか。	4.3	4.3
自分の意見と比べたり、深めたりするような聞き方をしていましたか。	4.4	4.4

◆1単位時間の効果的なコーディネート(職員)



	前期	年度
生徒	4.8	4.7
学習課題(めあて)は、学習することやゴールがわかりやすいように示されていましたか。	4.8	4.7
先生の質問に対して、自分の考えや思いをもちましたか。	4.5	4.5
黒板には、50分ものさしや学習内容がわかりやすく示されていましたか。	4.8	4.8
学習したことをまとめたり、身に付けたことを使って練習したりする時間が確保されていましたか。	4.7	4.7

生徒の力を高める諸活動

	前期	年度
生徒	4.2	4.2
ドリル学習で学習内容の定着を図ることができましたか。	4.2	4.2
コラム学習では、自分の考えや思いをまとめる力が育っていると思いますか。	4.0	4.0
フレンドリー集会では、お互いの良さを認めたり、自分の考えを積極的に話したりすることができましたか。	3.5	3.9
職員	3.5	4.0
ドリル学習やコラム学習、集会活動は効果的に実施されたか。	3.5	4.0

《生徒アンケート自由記述欄から》
○今年から始まったドリルの進め方がよいと思ったので、続けてほしい。

イ 生徒の状況

V 自主的・自律的な生活,望ましい生活習慣

学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
生徒一人一人の心身の状態に目を向けながら、明るく心のこもった挨拶など規律ある落ち着いた生活を実現している。	前期 おおむね良好	おおむね良好	・校門あいさつ運動では、生徒の元気なあいさつを見られたが、生徒個々を見ている教職員の評価が低いことが気になった。「あやめ運動」を意識させる方法が適切であったか、指導の徹底が図られたか、今一度生徒一人一人に目を向け、規律ある生活習慣を身に付けさせてほしい。
	年度 おおむね良好	おおむね良好	・各小学校と連携した「すこやかチャレンジカード」での、子どもたちの生活リズムの確立やメディアコントロール力の育成を目指した取組が推進されている。 ・生徒たち、保護者とも「元気なあいさつ」については達成感・自信をもっている。「あやめ運動」の『約束を守る』については、生徒たちの意識を高め、今後さらに向上させてほしい。
の自己改善評価の概要と学校	<p>○「あやめ運動」(元気なあいさつ、やくそくを守る、めあてをもって)に関する項目で、生徒は40保護者は3.6という評価であったが、教職員は2.9と低い評価になってしまった。元気なあいさつに関しては、全体ではできているものの、個々に見ると1人では元気なあいさつができていない生徒もいる。生徒会執行部の「朝こえ運動」や生活向上委員会の「あいさつ名人」の取り組みを強化して個々を鍛え、全体としてさらなるレベルアップを図っていききたい。また、約束を守るという観点から、様々な活動の時間を守ることやルールを守ることを教職員で事前に確認して生徒が落ち着いた生活が送れるようにしていきたい。</p> <p>○ノーメディアについての取り組みは、前期に比べて達成度が低くなっている。メディアの種類は多様であるが、Line等友達との通信はマナー上、夜9時以降はやめさせたい。PTAや学年通信等で保護者への働きかけを行っていききたい。その他のメディア利用については、各自生活時間の組み立てを考えた上でのルール作りが必要と思われる。</p>		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
10 規律ある学校生活	(14) 集団生活のきまりの理解と遵守	「あやめ運動」の推進と自律心の育成 生徒指導共通実践事項の設定と実施 地域や小学校と連携した安全指導	3	3
11 心身の健康の保持増進	(15) 健全な生活習慣	保護者を巻き込んだノーメディアデー運動の定着 早寝、早起き、朝ごはんの啓発と体力向上の働きかけ	3	3
12 教育相談の実践	(16) 日常的・積極的な教育相談と生徒理解 (17) 理解と指導をつなぐ「見立て力」の向上	「いつでも、どこでも」教育相談の推進 多様な手立てによる生徒理解 定期的な生徒を語る会と関係機関と連携した事例検討会の実施	3	3

(○生徒 □保護者 ■教職員)

【10に関連するデータ】 ※5段階評価{5:大変よい 4:よい 3:だいたいよい 2:やや問題 1:大いに問題}

(14) 集団生活のきまりの理解と遵守

- 「あやめ運動」を意識した学校生活を送ることができましたか。
- 学校生活のきまりを、しっかり守ろうとしましたか。
- 「あやめ運動」(元気なあいさつ、やくそくを守る、めあてをもって)により、規律ある学校生活が実現していると思いますか。
- 小学校や地域と連携した安全指導が、効果的に進められていると思いますか。
- 生徒に「あやめ運動」を意識させる手立ては適切だったか。
- 生徒指導共通実践事項についての共通理解が図られ、全校体制で指導の徹底が図られていたか。
- 安全指導を推進する上で、小学校や地域と連携を図っていたか。

前期	年度
4.0	4.0
4.3	4.4
3.6	3.6
3.6	3.6
2.9	2.9
3.2	3.1
3.4	3.5

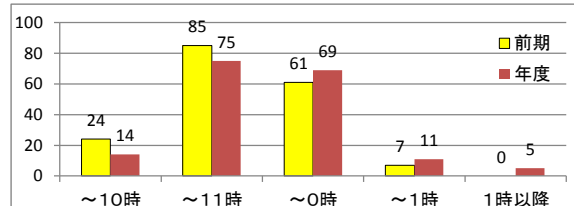
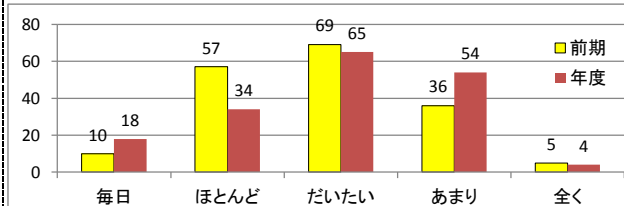


【11に関連するデータ】

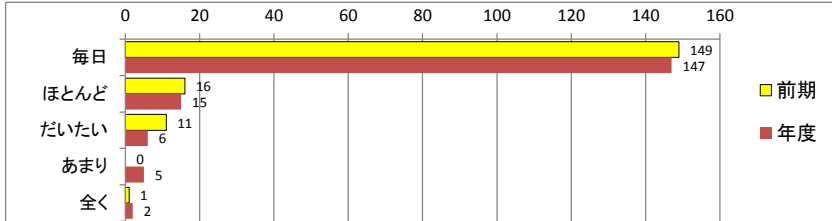
(15) 健全な生活習慣

○あなたの「夜9時以降ノーメディア」の達成度は次のどれですか。(単位:人)

○平日の就寝時刻は次のどれですか。(単位:人)



○毎日朝ごはんを食べますか。(単位:人)



- メディアコントロールへの働きかけは、お子さんの生活習慣の改善に役立っていますか。
- チェックカードなどの学校の取組は、「早寝、早起き、朝ごはん」の意識化に役立っていますか。
- 「ノーメディアデー」の取組について、家庭の理解を得る働きかけが行われていたか。

前期	年度
3.2	3.1
3.4	3.3
3.5	3.1

【12に関連するデータ】

(16) 日常的・積極的な教育相談と生徒理解 (17) 理解と指導をつなぐ「見立て力」の向上

- 悩み、困りごとを、友達や先生に相談できる雰囲気がつくられていると思いますか。
- より良い学級、学年にしようと努力できましたか。
- 担任やSCによる教育相談が機を逃さずに行われていたか。
- 多様な手立てによる生徒理解が行われていたか。
- 生徒を語る会や事例検討会が確かな状況把握をもとに行われていたか。

前期	年度
3.9	3.9
4.0	4.1
4.1	4.0
3.9	3.7
3.9	3.8

イ 生徒の状況

VI 思いやりの心,たくましい心

学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
一步前に出て積極的に活動に取組, お互いの良さを認め合い, 協力し合うことができる, 豊かな人間性を育てている。	前期	おおむね良好	・生徒や保護者へのヒアリングでは、「学校が楽しい」、「学校に行きたくないとは一度も言わない」との声が出され, 学校生活が充実し, 生徒の成長する場となっていることが伺えた。 ・運動会で1年生が上級生を応援したり, フレンドリー集会で真剣に話し合う場面が見られるなど, よりよい学校生活を目指した姿が見られる。
	年度	良好	・生徒たちの姿は, 元気なあいさつができ, はきはきと受け答えするさわやかな中学生である。学級づくりを始めとして, 教育活動全般で, 生徒たちを育て, 伸ばそうとする学校の取組の成果である。 ・生徒たちは地域とのかかわりを一層深めていきたいという願いをもっており, それを具体化するための学校としての方策に期待したい。
自己評価の概要と学校の改善策	○本校で導入している副担任制では, 朝の会や帰りの会, 道徳・学活, 面談などに, 複数の教師が学級に入り, 心に寄り添った指導が行われている。例えば, 立志やPUNを分担して見ることによって, 一人一人に手厚くアドバイスをすることができた。生徒アンケートの結果(4.5)からも, 十分機能していることが伺える。「朝の会, 帰りの会」は, 生徒の自主性を育てる工夫がされていたか。(3.4)と, 生徒の自主性については, さらなる改善が必要である。限られた時間ではあるが, 学級プログラムやスピーチの中に, 感想交流や振り返りを言い合えるような取組を設定したい。 ○学校行事では, 学級委員や実行委員, 各担当リーダーが中心となって運動会の進捗や応援の仕方, 競技の準備を生徒主体で考えたり練習計画を立てたりすることができた。そのため, 生徒の達成感の数値(4.2)保護者の数値(4.0)と高い。教師のアンケート結果を見ると(3.5)となっている。二学期の行事「北陽中祭」では, さらにリーダーを中心とした取組ができるよう, 事前指導を充実させ, より生徒の主体性を生かした行事にしたい。 ○運動会で1年生が他の学年を応援したり, 生徒総会やフレンドリー集会で意見を言い合うなど, 新しい場面が見られた。昨年やったからではなく, 今やらなくてはならないことは何かを生徒会・委員会活動で考え, 主体的に活動できるように教師側からの支援の仕方を工夫していきたい。 ○合唱コンクールに向けて, パートリーダーが中心となり, それぞれの学級の合唱を作り上げることができた。学校祭の準備期間に学級合唱の時間を設定できたことが良かったと思う。このことは「朝の会や帰りの会で活躍する場面がありましたか。」の質問に対して, 前期(3.9)→後期(4.2)と数値にも表れている。TTによる学級経営は, 複数の目で学級の生徒を見ることができ, 適宜必要な支援を生徒にすることができた。特に生徒・保護者との面談の時には, 多角的な視点から話し合うことができ, 効果を上げている。(4.4) ○学校祭では, テーマ「躍進 永遠の伝説を刻め, 英雄たちよ」を達成すべく, 各部門長や各班のリーダーが中心となって取り組むことができた。「一人一人が英雄に値する頑張りがあった」ということで, 一人一人に賞状を渡す新たな取り組みも行われた。「保護者の皆さんと一緒に創り上げる学校行事になりましたか」の数値が(3.6)なので, 来年度は, 保護者・地域の皆さんと一緒に創り上げる取り組みを取り入れたい。 ○3年生から1, 2年生にたすきが渡った生徒会も, 新たなリーダーのもとに活動が行われている。生徒総会では, 北陽中をよりよくするために, 活発な意見交換がなされた。「よりよい学校を作ろうと, 生徒会活動に積極的に取り組みましたか。」(4.1)。生徒総会で決まったことを実行できるように進めている。あやめ運動の推進, またはあやめ運動に代わる取り組みが必要であると感じている。		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
13 より良い集団生活を目指す学級・学年活動	(18) 本音で語り合える学級・学年づくり	TTによる学級経営の推進(副担任制度の導入と活用) 朝の会, 帰りの会の工夫, 話し合い活動の充実, 学年集会の実施	3	4
	(19) 学校行事を生かした「高め合う学級・学年づくり」	リーダーを中心とした学級・学年集団の育成(リーダーシップ, フォロワーシップの育成)		
14 新しい校史を刻む気概ある生徒会活動	(20) 成し遂げる気概にあふれた学校行事	生徒会による生徒主体の学校行事	3	4
	(21) 創造的委員会活動の推進	新しい校風を創る日常活動の創意工夫 定期集会(朝会)での委員会発表の工夫		

(○生徒 □保護者 ■教職員)

※5段階評価 {5:大変よい 4:よい 3:だいたいよい 2:やや問題 1:大いに問題}

[13]に関連するデータ

(18) 本音で語り合える学級・学年づくり

	前期	年度
○朝の会や帰りの会で活躍する場面がありましたか。	3.9	4.2
○悩み, 困りごとを友達や先生に相談できる雰囲気がつくられていると思いますか。	3.9	3.9
○担任と副担任は協力して, 学級のために指導や支援をしてくれましたか。	4.5	4.4
■朝の会, 帰りの会は, 生徒の自主性を育てる工夫がされていたか。	3.4	3.6
■副担任制を活用した学級経営が図られていたか。	3.5	3.8

(19) 学校行事を生かした「高め合う学級・学年づくり」

	前期	年度
○お互いの良さを認め合いながら, 協力して学級づくりに励むことができましたか。	4.2	4.1
○フレンドリー集会では, お互いの良さを認めたり, 自分の考えを積極的に話したりすることができましたか。	3.5	3.9
○よりよい学級, 学年にしようと努力することができましたか。	4.0	4.0
■リーダーを中心とした学級集団づくりの育成が図られていたか。	3.5	3.6

[14]に関連するデータ

(20) 成し遂げる気概にあふれた学校行事

	前期	年度
○学校行事での達成感ほどの程度でしたか。	4.2	4.4
□学校行事は, 学級や学年が一つにまとまって活躍できる行事でしたか。(運動会, PTALek等)	4.0	4.1
□保護者の皆さんと一緒に創り上げる学校行事になっていましたか。	3.6	3.6
■生徒会による生徒主体の学校行事が図られていたか。	3.4	4.2
■定期集会で委員会発表の工夫がなされていたか。		3.7

(21) 創造的委員会活動

	前期	年度
○よりよい学校を作ろうと, 生徒会活動に積極的に取り組みましたか。	3.9	4.0
○他の人の役に立つ行動や他の人を思いやる行動ができましたか。	4.0	4.1
■新しい校風をつくる日常活動の工夫がされていたか。	3.1	3.7

◇8月の地域防災活動への参加状況(人)

生徒	地域住民	小学生
159	156	67

◇1月の地域防災活動への参加状況

生徒	地域住民	小学生
170	111	119



PUNの取組をアドバイスし合う生徒集会



生徒が躍進した学校祭



地域の方々と防災活動

ア 学校運営の状況

Ⅶ 保護者・地域との連携

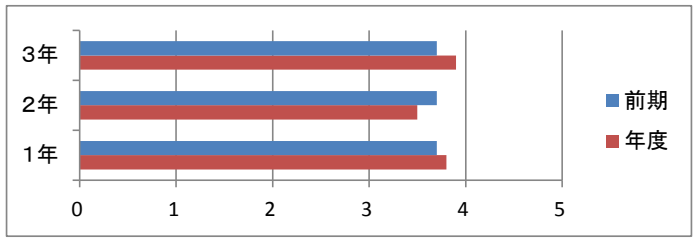
学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
保護者地域との信頼関係を積極的に構築するとともに、具体的連携の基礎を築いている。	前期	おおむね良好	・地域や保護者との信頼関係が築かれており、小学校と連携した活動も推進されている。 ・PTA行事への保護者へのさらなる参加を促す手立てを工夫してほしい。 ・生徒たちの頑張る姿を発信するためには、学校報に加え、HPの活用も重要である。行事やボランティア活動での姿、学習時間の姿、部活動での頑張り等、是非適宜HPに掲載し、保護者や地域の人たち、遠くに住む卒業生たちが心待ちに見るようなHPにしていってほしい。 ・PTAの参加率向上のため、保護者の意見をくみ上げながら、日程や時間的な配慮をしてほしい。
	年度	おおむね良好	
校自改評善価策の概要と学	○4月当初に、三地区の行政協力員の会合に顔を出し、学校報配付の協力依頼をすることができた。学校報を全戸に配布する取組は保護者や生徒の評価も高いので、今後も継続していきたい。1学期PTAの日程を半日日程に変更することで、保護者が授業参観からそのままレクにも参加しやすい日程に工夫した。子どもハローワークの活用は昨年と同様に自分から希望する参加が多く見られる。夏の防災活動には小学校の協力もあり、小中合同で活動する町内が多く見られた。反省としては、もっと休みの前半時期と熱中症予防のために朝の早い時間帯に設定したい。 ○学期末PTAへの出席率が低く、課題と考えている。特に学年PTAの出席状況が低いので、内容や時間の持ち方等も検討し、学校に足を運んでもらう対策が必要である。役員反省会でも話題に取り上げ、今後の改善の参考にした。子どもハローワークの参加状況は、全校生徒182人の内、114人(68%)の生徒が少なくとも1回は参加している。生徒自身のキャリア発達のためにもぜひ活用を促したい。防災活動は2年目を迎え、町内会長と代表の生徒が活動内容について、連絡を取り合い、充実した活動にするように工夫を重ねている。小学校の協力もありがたい限りである。学校報については、3年生から1、2年生の生徒に係が交代している。迅速、確実に届けられるように今後も指導を継続したい。		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
15 情報の発信の工夫	(22) 学校と家庭・地域をつなぐ諸通信の発行	統合3校区を網羅する学校報配布システムの構築と運用	4	4
16 大館盆地の教育力の活用	(23) PTA活動の活性化	PTA活動への積極的支援と働きかけ	3	3
	(24) 職場体験・子どもハローワークの積極的活用	将来に対する夢や目標を育む実践		
	(25) 防災活動や地域行事への積極的な参加と貢献活動	3地区の地域行事に対する参加計画の立案・積極的アピール 防災活動を柱とした地域ボランティアの推進		

[15に関連するデータ]

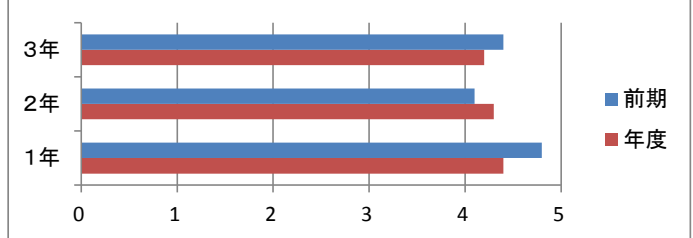
【□保護者の評価】

【学校報を通して学校の様子が効果的に発信されていますか。】



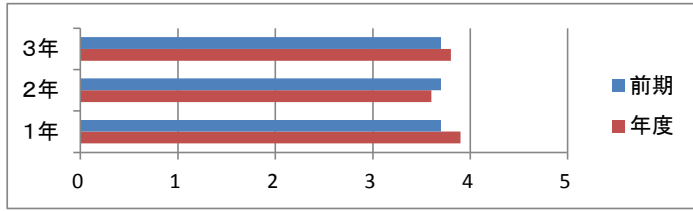
【○生徒の評価】

【学区内すべてに学校だよりを配付する取組をどう思いますか。】



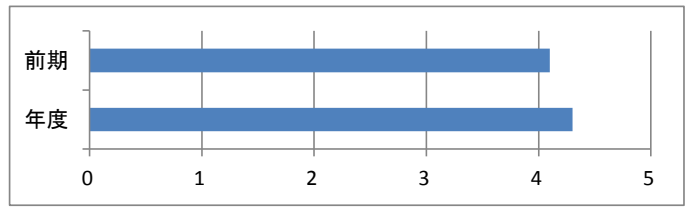
【□保護者の評価】

【学年だより等で北陽中の良さを感じることができますか。】



【■教職員の評価】

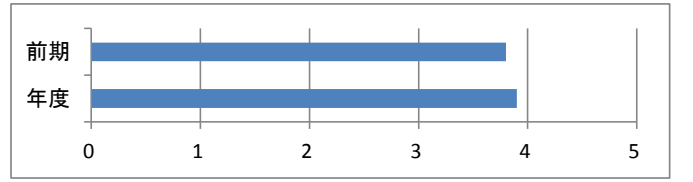
【学校報の全戸配付が効果的に進められ、学校の様子が紹介されていたか。】



[16に関連するデータ]

【□保護者の評価】

【地域ボランティア活動は、お子さんの心の成長に役立っていますか。】



◎子どもハローワークの参加延べ人数 243人が参加(1月16日現在)

【PTA、なべっこ、地域防災活動の参加人数】

なべっこ	学年PTA(12/2)	地域防災活動(1/12)
婦人会 28名の協力	保護者 51名(28%)	地域・保護者等 111名